

2005年 けんちくクラブ ワークショップ

「記憶の中の家をかたちにしてみませんか」を終えて

広島支部 貞森 美保

9月8日(木)～9月11日(日)、平成17年度高齢者作品展「達人たちの夢2005」が、広島市まちづくり市民交流プラザで開催されました。



最終日11日(日)午後1時から、私たち広島県建築士会広島支部女性部会・青年部会けんちくクラブも、参加協力させていただきました。建築士

だからできること、そして参加していただく高齢者の方に喜んでもらえるような企画を思案したところ、「記憶の中の家をかたちにしてみませんか」と題し、思い出の家を平面図に書き上げようという、けんちくクラブ初めての試みとなる企画が立ち上がりました。



この企画には2つの大きな趣旨がありました。1つは、懐かしい時代を「家」を通して思い出してもらい、実物を見ることができないお孫さんや家族・友人に具体的に伝える手段にしてみたいということ。そしてもう1つは、私たち建築士が昭和20～50年代という、日本が急激に変化した時代を体験した人々の歴史をたどることで、住まい方の変遷をうかがうことができるのではないかとことでした。

当日参加していただいたのは70歳代の男性5人と、女性3人の計8人。参加者1人にそれぞれ2人ずつのスタッフを基本にして進めていきます。1人がヒアリング担当として参加者との会話をメインに、もう1人が作図担当としてヒアリングの内容を図面に反映していくという作業内容です。参加者の方にはあらかじめ家族や家の写真を持参していただきました。写真を眺めながら、懐かしくお話しされるのを聞いていると、スタッフ側も心温まる時間が持てたように思います。

大半の方が、生まれ育った家を希望されました。この日のために当時の情報を整理してきていただいたせいか、当日会場内で、「あれ?あそこはどうだったかな?」というような迷いもなく、作業を進めることが出来ました。とはい

え、4時間余りで完成するという厳しいスケジュールだったので、終盤になると作図があわたしくなり、図面に着色を済ませ、1枚のパネルに何とかレイアウトをまとめたという具合でした。A3サイズのパネルに、スタッフの描いた平面図と持参してもらった当時の写真のコピーを貼り付け、最後に参加者に自筆で家についてのコメントとタイトルを書いてもらいました。

閉会の際、参加者の方から「パネルを持ち帰ってお兄さんと話をしたい」「昔を思い出し、懐かしむ時間が持てた」「昔に戻れた3時間だった」などの感想をいただき、



大変うれしく思いました。また、パースや3Dなどといった表現方法を求められた方もおられ、私たちの技量もさらに必要であると感じています。このワークショップ本番を迎えるまでに、

何日かスタッフの打ち合わせを行い、同時に作図の練習日も設けました。ヒアリングのシミュレーション、各自の家をモチーフにして作図の練習など、忙しいながらも楽しく真剣に取り組めたと思っています。

今回のワークショップを通じて、家というのはその場所の土地柄、家族構成、持ち主の思い入れや住み続けた時間の流れ…。ひとつとして同じ家がないことを、改めて感じた1日でした。正直、時間のあわただしさに追われ、住まいの変遷などじっくり聞いている余裕がなかったのが反省点でもあり、次回の課題の1つになるかと思っています。

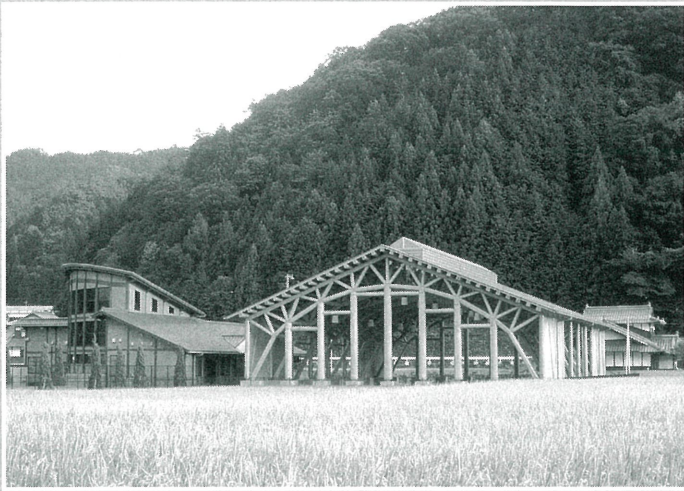
この場を借りて、交流プラザのスタッフの方々、ご参加いただいた皆様へ、お礼を申し上げます。ありがとうございました。



MONTHLY 建築士

IROSHIMA





筒賀「夢づくり交流館」

- 設 計／(株)車田建築設計事務所
- 所 在 地／山県郡安芸太田市筒賀
- 構 造／木造平屋建て
- 延べ床面積／761.6㎡

「夢づくり交流館」は、地産地消推進の一環として、「主構造材を村有林の杉丸太で構成できないか」というテーマで出発いたしました。当初、22 mを超える大スパンの建物ということで、集成材によるラーメン架構も検討しましたが、「子どもたちに、『筒賀村にはこんな立派な木があるんだ』ということを知らせておきたい」との村からの強い要望があり、最終的に、村有林で供給可能な丸太の長さ・径・本数を考慮してトラス構造で設計することとしました。

本計画建物は、桁行方向をブレース架構、梁間方向をトラス架構としていますが、梁間方向の架構は方杖架構の延長線上の架構形式として扱い、施工令 46 条の耐震

壁は省略しています。構造体の安全確認は施工令 82 条の許容応力度設計法によって行いましたが、材料の丸太は未乾燥のまま加工されることが予想されたので、設計図書には加工前のヤング係数と含水率計測を必須条件としました。また、ヤング係数は E70 を指定しましたが、E60 程度でも十分使用可能であることを確認し、歩留まりを高める計画としました。

また、接合部は割先防止金具で拘束し、乾燥割れによる接合耐力の低下を防止しました。しかし、竣工後数年間は部材の乾燥収縮による接合金具の緩みを生じることが予想されるので、ボルトの締め直しなどの定期点検が必要となり、実行する予定です。

材料のヤング係数計測は各地で地場産材を活用した公共木造建築物建設時に行われていますが、今回採用した立ち木段階での計測および適否判断は本事業が初めての試みと思われます。具体的には、ポータブル計測器を使って伐採予定の村有林に出向き、立ち木の状態でタッピング法によるヤング係数計測を実施して材を選定しました。伐採後、十分な期間、葉枯らし処理を行いましたが、日射環境・気象条件などが悪かったためか含水率は平均で 122%程度に留まり、残念ながら生材状態で搬出することになりました。しかし、搬出後、加工開始までの期間、十分に天然乾燥を施すことができました。

本事業では、木造建築の構造性能を担保するための技術（太田川水域の杉材質の把握）を林業生産現場で初めて試みたことや、役場、林業、木材工業、建設業など行政および異種業間の連携と相互の理解が図られる第一歩であったことなど、大変意義があったと考えます。

お知らせ

第34回 会員作品展の 作品募集について

(平成18年日本建築士会連合会賞)

日本建築士会連合会の「第34回会員作品展」応募要領が発表されました。(会誌「建築士」10月号掲載)

応募対象者は建築士会の会員で、対象建築物は平成15年以降に竣工し、検査済証の交付を受けた建物であること。その種類、規模等は問わないとなっております。

応募の締め切りは、平成18年2月20日(月)までに、日本建築士会連合会へ提出することとなっております。皆様の積極的な応募を期待しております。

アスベスト相談への対応

広島県の依頼により、一般からのアスベストに関する週末の電話相談を当会で担当しております。各支部の日程は以下のとおりです。

広島支部	場 所	(社)広島県建築士会本部事務局		電話番号	082-244-6830	相談時間 10:00~16:00
	相 談 日	10月15日(土)	10月29日(土)	11月12日(土)	11月26日(土)	
	相 談 員	佐藤光敏・有信小枝子		佐藤光敏・中松昭義		
呉地区支部	場 所	呉地区支部の電話を転送		電話番号	0823-25-0230	
	相 談 日	10月16日(日)	10月30日(日)	11月13日(日)	11月27日(日)	
	相 談 員	島谷勝己(携帯)	津村栄一(携帯)	平田勇司(携帯)	家頭昌利(自宅)	
東広島支部	場 所	東広島市土木建築協会		電話番号	082-424-0111	
	相 談 日	10月22日(土)	10月29日(土)	11月19日(土)	12月3日(土)	
	相 談 員	梶津圭右・石竹常良	吉田英明・実森信夫	新開信之・土井節夫	大川裕一郎・加藤正美	
三原支部	場 所	三原支部の電話を転送		電話番号	0848-67-6330	
	相 談 日	10月23日(日)	11月6日(日)	11月20日(日)	12月4日(日)	
	相 談 員	正尺文夫	藤原良陽	小林次男	正尺文夫	
尾道支部	場 所	尾道建設会館		電話番号	0848-25-3334	
	相 談 日	10月15日(土)	10月29日(土)	11月6日(日)	11月26日(土)	
	相 談 員	小川 毅(正) 毎田広志(副)	小西郁吉(正) 元廣清志(副)	毎田広志(正) 小川 毅(副)	元廣清志(正) 小西郁吉(副)	
因島支部	場 所	相談員の自宅		電話番号	相談員の自宅電話	
	相 談 日	10月22日(土)	11月5日(土)	11月19日(土)	12月3日(土)	
	相 談 員	村田正晴(自宅)	村上克広(自宅)	木村隆治(自宅)	柏原祐造(自宅)	
福山支部	場 所	福山土木建築会館		電話番号	084-923-4820	
	相 談 日	10月16日(日)	10月30日(日)	11月13日(日)	11月27日(日)	
	相 談 員	中川基治・吉野絹枝	岡崎修一・平川辰夫	河相喜久男・甲田善久	藤井英昭・高橋利安	
県北支部	場 所	三次カルチャーセンター(10/22・23)		広島建労保険組合三次支部会議室		
	電話番号	対面住宅相談		0824-63-4951		
	相 談 日	10月22日(土)	10月23日(日)	11月6日(日)	11月20日(日)	
	相 談 員	磯井和雄・中村元信	岡田治幸・国原義朗	天野武美・倉本満広	作田健治・糸谷康孝	

第49回建築士会全国大会(栃木大会)について

日 時：平成18年10月20日(金)

会 場：宇都宮市文化会館

宇都宮市総合コミュニティセンター 明保野体育館等

テーマ：下野で語る建築士と地域との共創

～建築士たちの“もの・まち・くらしづくり”の実践～

主 催：(社)日本建築士会連合会

共 催：関東甲信越建築士会ブロック会

主 管：(社)栃木県建築士会

後 援：国土交通省・栃木県・宇都宮市 他

あなたの作品で表紙を 飾ってみませんか？

随時、表紙用の写真を募集しています。写真(プリント、ネガ、データ)2～3点を設計概要、設計趣旨(400字程度)と一緒に送ってください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。

⚠ 社団法人 広島県建築士会

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1-8-4 日興ビル3F

TEL (082) 244-6830(代)

FAX (082) 244-3840

mail : info@k-hiroshima.or.jp

URL : http://www.k-hiroshima.or.jp/

- ホームページをリニューアルしました。是非一度クリックしてみてください!
- 事務局のアドレスも変更しております。今までのアドレスは使えません。変更をお願いします。

第29回 ソフトボール大会を終えて

広島県建築士会尾道支部 スポーツ委員 湯浅 文夫



大会設営風景

9月17日(土)、会場は東広島運動公園多目的広場。主管支部としてはスポーツ委員会議を開き、万全を期して当日を迎えました。その努力のたまものか、当日は大会にふさわしく快晴。それに心が浮いたのか、設営関係者集合時間8時30分のところを、全員8時には集合して準備にかかりました。そのため約1時間早く開会式準備が出来上がり、余裕のひと時が持てました。

開会式を10時15分と15分早め、主管支部(尾道支部)の葉名副支部長の指示の下、開会宣言を堀田本部スポーツ委員長、開会挨拶を錦織会長と順次スムーズに進行しました。



試合はリンク方式でAゾーン、Bゾーン4チームずつに分かれてスタート。Aコートは錦織会長の始球式で始まり、各チームが2試合ずつ戦いました。その結果、Aゾーンでは広島支部が2勝、Bゾーンでは県北支部が2勝し、決勝戦に進出。県北が序盤より打撃を発揮し、10対3で完勝しました。しかし両チームとも打撃、守備と



もクラブチーム並みで、大変見ごたえがある試合展開に時間のたつのも忘れるほどでした。



閉会式挨拶



優勝旗の授与

閉会式では成績発表を堀田本部スポーツ委員長が、賞品授与を錦織会長が行い、優勝チームの県北支部には賞状、優勝旗、副賞が手渡されました。また準優勝の広島支部には賞状、準優勝盾、そして副賞。個人賞として最高殊勲選手を県北支部の藤光均さんに、会長賞を広島支部の鬼木康生さんに贈られました。その他、敢闘賞、ファインプレー賞、珍プレー賞、ホームラン賞が各チームで選考された人に贈られました。

最後に閉会挨拶を錦織会長が、閉会宣言を主管支部の元廣支部長がお礼を兼ねて宣言をして、閉会になりました。皆様のご協力を得てスムーズに進行できましたことを、主管支部として心より感謝致します。また東広島支部の皆様には会場手配、各準備品の手配をしていただき、誠にありがとうございました。最後に、広島建築士会の親睦行事としてこれだけ多数の会員が集う行事ですので、ますます発展し、末長く開催されますようお願い致します。



優勝した県北地区の選手たち

お知らせ

専攻建築士申請説明会のご報告

CPD・専攻建築士制度推進委員会 委員長 南 紀夫

会員の皆様にご心配をいただいております、「専攻建築士審査・登録申請説明会」を5会場で予定通り開催いたしました。予想を上回る300名を超えるご参加をいただき、ありがとうございました。

この説明会の各会場で、うれしい光景を目の当たりにしました。当日建築士会に入会され、さらにCPD手帳もご購入された方や、会員の方でCPD手帳をご購入いただいた方も多くお見受けいたしました。

このたびの説明会は日程の関係で、同日2会場での開催となり、講師が3名で行いましたので、会場ごとの皆様へのご説明が不十分な部分もあったことをおわびいたします。

説明会での質疑応答及び説明不足事項や、連合会からの追加説明等については、ご参加いただいた皆様のお手元にお送りいたしましたので、申請書類へのご記入の際に参考にしていただければと思います。

もうCPD登録はしていただけたでしょうか。説明会でもお話しいたしましたが、今年申請すると有利な理由を列記します。

- ① 専攻建築士に申請“する”“しない”にかかわらず、今年CPD登録をしておかないと登録料が2000円必要です。
- ② 初年度の今年申請すると、免許取得後15年以下の方の必要CPD単位が30単位と非常に有利です。
- ③ 初年度の今年CPD登録をして申請すると、CPD単位の算入年が16年度分(16.11～17.10)有効となります。
- ④ 初年度の今年申請すると、5年後の更新をするとき必要なCPDの250単位は、申請時の1年間分(16.11～17.10)有効となり、6年間250単位でよくなくなります。

免許取得後15年を超える方も、3年間の経過措置がなくなる20年度申請からは、緩和措置がなくなります。すなわち、免許取得後3年の方も15年を超える方も、同じ250単位が必要になります。

建築士免許取得後15年を超える方も上記をご理解いただき、「CPD単位取得の必要がありません」という有利な緩和を有効にご活用され、大勢の会員の皆様のご参加をお願いいたします。

専攻建築士申請・CPDデータ登録の受付開始

●受付期間 11月1日(火)～11月30日(水)の1カ月間

●提出先

- ・専攻建築士申請…所属の支部事務局 ※三原支部は以下の3カ所
(株)セイム(三原市皆実4-8-6・TEL0848-63-4455)
山陽建設(株)(三原市宮沖1-13-7・TEL0848-62-2115)
正尺建築設計事務所(三原市東町2-1-4・TEL0848-64-7733)

・CPDデータ登録…本部事務局

※専攻建築士申請のガイド等資料一式は、各支部にありますので、所属の支部までお問い合わせください。

※申請書の書式は、ホームページ(<http://www.k-hiroshima.or.jp/>)からもダウンロードできます。(専攻建築士登録申請・CPD登録申請共に)

2005 Information Calendar 11月・12月の行事予定

11 November

- 1 火・専攻建築士申請受付(所属の各支部へ)
●CPD登録(本部事務局へ)
- 3 木・見学会(尾道支部)
●女性部会神辺町見学会(福山・呉地区支部女性部合同)
- 5 土・まちづくり見学会(東広島市)
- 9 水・青年部会定例会(尾道支部)
●青年部女性委員会定例会(呉地区支部)
- 11 金・消防法及び市条例改正説明会(三原支部)
●女性部定例会(福山支部)
- 12 土・神戸見学会(福山支部)
- 16 水・青年部会定例会(福山支部)
- 19 土・パソコン(CAD)講習会(三原支部)
- 23 水・応急危険度判定士講習会(広島)
- 25 金・建築関係講習会(福山支部)
- 28 月・応急危険度判定士講習会(福山)
- 30 水・専攻建築士申請・CPD登録受付締切



12 December

- 2 金・全国女性建築士連絡協議会(高松市)
●建築セミナー(呉地区支部)
- 3 土・全国女性建築士連絡協議会(高松市)
- 4 日・タウンウォッチング(呉地区支部)
- 8 木・改正建築基準法講習会
●二級木造建築士試験合格発表
- 13 火・常任幹事会(福山支部)
- 14 水・青年部会定例会(尾道支部)
●青年部女性委員会定例会(呉地区支部)
- 20 火・一級建築士試験合格発表
- 28 水・仕事納め